

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AE319／子ども文化論 (Child and Youth Culture)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	絵本論／読解と創作		
担当者名 (Instructor)	広松 由希子(HIROMATSU YUKIKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	EDU2700	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

「絵本」を通して、子どもの文化についての思考を深め、子どもたちと共有できる豊かな視覚言語を身につける。

This class will deepen students' understanding of thoughts on children's culture through picture books, and help them become competent in the visual language that can be shared with children.

授業の内容(Course Contents)

古今東西の絵本を広く紹介し、絵本を多角的に読み解いていく。講義だけでなく、ワークショップや試作を通して、絵本というメディアの特性を体感してもらい、子どもたちに伝えたい絵本文化について共に考える。

The class will introduce picture books from all ages and countries and how to analyze them multi-directionally. This class includes not only lectures, but also workshops and trial production so that students will get a feeling for the characteristics of picture books as media and think about the picture book culture they want to convey to children.

授業計画(Course Schedule)

1. 絵本とはなにか -身体で読む-
2. 絵本の解剖 -深読みの悦び-
3. 絵本の方向性 -日本の絵本の特色-
4. 絵本のリズム -二拍子絵本を考える-
5. サイズと形 -モノが語ること-
6. タネからアイデアへ -日常の気づきから-
7. 登場人物と擬人化 -愛すべきキャラクターとは-
8. 絵本の世界をイメージする -見えないところをつくり込む-
9. 物語と展開 -プロットをつくる-
10. 視点と構図の変化 -絵コンテを描いてみる-
11. 絵本の「ことば」 -絵の中の音と意味-
12. 表現と技法 -鉛筆から Pencil まで-
13. 絵本を読む目 -最初の読者として-
14. まとめと講評

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時間外の学習に関する指示は、必要に応じて別途指示する。
特に絵本を自分で選び、授業に持参してもらうことがあるので、留意すること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 授業内に指示した提出物(30%) / リアクションペーパー(30%)

テキスト(Textbooks)

適宜プリントなどを配布

参考文献(Readings)

1. 広松由希子、2021、『日本の絵本 100 年 100 人 100 冊』、玉川大学出版部 (ISBN:9784472120145)
2. 金原瑞人／ひこ・田中、2018、『13 歳からの絵本ガイド YA のための 100 冊』、西村書店 (ISBN:9784890137879)
3. 広松由希子、2013、『きょうの絵本あしたの絵本』、文化出版局 (ISBN:9784579304431)

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

講義とあわせ、絵本の制作やワークショップを適宜行う。
受講人数や制作などの進捗によって、授業計画は変更する場合がある。

課題の提出やフィードバックには Google Classroom の利用を予定している。
受講人数や授業内容に合わせ、オンラインの双方向授業を取り入れる場合がある。

注意事項 (Notice)